

在宅患者さんの「心不全」について地域医療介護学習会を行いました



昨年12月12日 汐田総合病院で「心不全とつきあう」をテーマに第7回地域医療介護学習会を開催しました。講師は鶴見区で訪問診療をされている「ひのわクリニック鶴見」野本先生にお願いしました。当日は多くの地域医療・介護各施設の皆様にも参加いただき、院内外で71名の参加者でした。

講演では、「『臓器疾患』へ焦点をあてるだけでなく、『個々の生活の質』を考える両輪で増悪を予防し、穏やかに過ごし看取りまで視野に入れ診療にあたっている」と、事例を元に、どのようなところに気を付けて患者さんを診ているのかをお話いただきました。また、「予後予測や終末期の判断の難しさ」、「患者家族の長期介護への負担」等、心不全を始め非がん患者さんの在宅緩和や看取りの難しい点にも触れ、質疑応答では看取りの話をするタイミングや、本人や家族の理解を得るの難しさ等、質問が寄せられましたが、「とても難しい問題で正解は無いが、各々の生き方に寄り添いながら、在宅生活を支える皆で協力し合い、最も妥当な治療選択になるよう努めていくことです。」と締めくくりました。

市民公開講座のお知らせ

8回目の「うしおだグループと市民の健康サポート教室」は、今回はがんの中でも男女ともに罹患率の上位を占める大腸がんの予防と治療をテーマに、長谷川行健医師がお話しします。

テーマ：「知ってよかった大腸がんの予防と治療」

講師：長谷部 行健 医師

(汐田総合病院 副院長 消化器外科)

日時：2020年1月31日(金) 15:00~16:30

会場：ココファン横浜鶴見

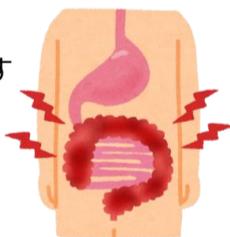
管理栄養士による「がんリスクを高めない食品」についての話も予定しています

先着100名

参加費 無料

皆様のご来場を

お待ちしております



メモリーカフェ



認知症にまつわる悩み、専門スタッフに相談できます

・汐田総合病院 会場：ラウンジぴゅあ(病院2階)

1月9日(木) 2月13日(木) 14:00-16:00

・うしおだ診療所 会場：本町通1丁目自治会館

1月23日(木) 2月27日(木) 13:30-15:30

(場所と開催日(第4木へ)が変更になりました。)



ペットボトルキャップをワクチンに!

SDGs×うしおだ総合ケアセンター

プラスチックスマート+世界のこどものワクチンを!!

汐田総合病院の職員を中心にペットボトルキャップを回収し、「NPO法人ともにあゆむ」へ3,999個のキャップを納品させていただきました。累積は17,802個になりました。

ペットボトルキャップは、1kgで430個に相当するそうで、ポリオワクチンは、860個で1人分が購入できるとのことです。逆に、ペットボトルキャップをゴミとして焼却処分した場合、1kgで約3.15kgのCO2が発生すると言われていたそうです。

*うしおだグループでは環境問題への取り組みを行っていきます
今後、各事業所での取り組みを紹介していきます

ペットボトルキャップ受領書

発行日: 2019/12/19

【お名前】公益財団法人 横浜勤労者福祉協会 様

【ご住所】230-0001 神奈川県 横浜市鶴見区矢向1-6-20

【FAX】

下記、正に受領いたしました。ご協力、誠にありがとうございます。皆様のご厚意を大切に致します。

受取日	数量	備考
2019/12/17	9.3 KG	

※1KGで430個に相当で計算させて頂いております。ポリオワクチンは、860個で1人分が購入できます。ペットボトルキャップはゴミとして焼却処分した場合、1KGで約3.15KGのCO2が発生すると言われております。

今回受領個数:	3,999 個
累計受領個数:	17,802 個

今回受領分のワクチン数:	4.65 人分	累計受領分のワクチン数:	20.7 人分
今回受領分のCO2削減量:	29.295 KG	累計受領分のCO2削減量:	130.41 KG

ご協力いただきましたペットボトルキャップは、再生プラスチック原料として換金し、その一部をワクチン購入代として「NPO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」へ寄付いたします。



うしおだ総合ケアセンター

We aim to build a non-discriminatory Integrated Community Care System that supports all